



レスコンなどの大会へ出場する他に、子供向けの地域イベントも実施。ものづくりの楽しさやロボットに興味を持ってもらえるよう、機体の動かし方を教えることも。

徹夜で作業するのはできるだけやめて 在籍している間になんとか レスコンで優勝したい!

「徳大生大活躍!」のコーナーで『徳島大学ロボコンプロジェクト』を紹介したことを覚えているでしょうか? 2017年の総合2位という成績に「今年は優勝を目指してがんばるぞ!」と気合い十分で挑んだ『レスキューロボットコンテスト(レスコン)』でしたが...

対してより優しい救助を心がけるように」と指摘を受けたと話す平林さん。

さらに大きく勝敗を分けたのがPRです。

「競技としてみると、うちのチームは強かったと思うんです。ファーストミッションは一位で突破できたし、去年と比べてもかなり良かったと思います。ただ、競技ポイントだけでは全体の半分にも満たなくて、『コンセプトを立ててそれに添った機体作りができていたか』とか『PR方法』も重要。そこで大きな差がつき、残念な結果に終わりました」。

「競技前に観客に対して、機体の良さをアピールするんですが、他のチームは動画を使ってわかりやすく紹介していました。僕たちは機体置いて見せただけで、いろいろ工夫はしているのにそのことが伝わっていません。今後は

よりわかりやすいコンセプトを立てて、機能を追加し、動画制作も検討したいと思っています」。

平林さんは1年生の時、4号機の操縦者としてレスコンに出場。4号機はアームで瓦礫を除去する機体なので、主にアーム作りに関わっていたと言います。そのときの反省点を生かし、機体を改善。いろいろ工夫も凝らして操作性も向上させ、練習量も増やし、操縦者の技術も格段にレベルアップしました。手応えを感じていただけに残念ではありますが、次回の大大会へ向けてすでに新たな挑戦が始まっています。

「本番は8月なんですけど、今の段階で改善点の洗い出しはいただいた



大会の様子。



内科疾患

日常診療で最も多いのは一般に風邪症候群と呼ばれる疾患です。この中にはウイルスによる風邪やインフルエンザ、さらには百日咳やマイコプラズマ肺炎など細菌による疾患も含まれます。しかし当センターでは詳しい検査はできないのでこれらの疾患を正確に区別することはできません。高熱やひどい咳痰があり細菌感染症を疑う場合を除いて、いわゆる風邪薬を投与することになります。インフルエンザの流行時期には迅速診断キットによる診断を行い、インフルエンザと診断できた場合には抗

保健管理・総合相談センターで 多い受診疾患と対応

保健管理・総合相談センター
保健管理部門 部門長
前田 健一 (まえだ けんいち)

インフルエンザ薬(タミフル)での治療を行うこともあります。ただし一般に風邪症候群は基礎疾患のない成人にとっては特別な治療を必要とせず自然治癒する疾患であり、絶対に抗インフルエンザ薬や抗生物質の投与が必要ということではなく、病気の回復に最も大切なものは薬よりも休養や食事ということになります。風邪をひくとまず薬とされている人が多いですが、風邪薬は症状を抑える薬であり、風邪を治す薬ではないことを理解する必要があります。次に多いのは下痢、発熱の症状で食中毒や感染性胃腸炎を疑うケースです。下痢があっても基本的に下痢を止めるような薬剤は使用しません。こちらに関しても食事、水分摂取等に注意すれば自然治癒する疾患と言えます。

外科疾患

擦傷、切傷、火傷などが当センターで扱える外科疾患ということになります。傷の治療は最近では一般的となった湿潤療法を行っています。薬局などでもいろんな傷の保護用材が売られており、これで傷を覆って傷にかさぶたを作らず治療する方法です。この治療で注意すべきなのが感染です。傷を

密閉しますので傷に砂や土など異物が残っていた場合これらもとで感染を起こします。従って傷をしっかりと洗って異物を完全に除去することが重要です。感染のトラブルがなければ傷をそのまま放置した場合に比べて傷跡が残らず1/2〜1/3程度の期間での治癒が期待できます。またサークル活動等での打撲や捻挫も多い疾患です。こちらについては湿布薬などで対応していますが、最も大切なことは受傷直後のクーリングです。クーリングの処置が不十分なことが多いようなので注意してください。

診療スタンス

以上のように当センターでは病気の診断や治療を綿密にできる状況にはありませんので、その点については受診する際注意してください。もし検査や積極的な治療が必要と考えられた場合には適当な近隣の医療機関を紹介しています。しかしまずは病気に対して一定の知識を持ち

病気になるように注意し、病気がなった場合にも食事や休養など自己管理をしっかり行うことが、病院を受診して薬を飲むことよりはるかに大切なことだと言えます。

